

2016年1月27日  
三建設備工業株式会社

## 「省エネと省資源に配慮したスマートクリニックへの取組み」が

### 省エネ大賞「資源エネルギー庁長官賞」を受賞

三建設備工業株式会社（東京都中央区、代表取締役社長：松井 栄一）は、「省エネと省資源に配慮したスマートクリニックへの取組み」の先進性と独創性に優れた省エネルギー技術への取り組みが評価され、平成27年度省エネ大賞省エネ事例部門において、「資源エネルギー庁長官賞」を受賞しました。

#### 【表彰式】



三建設備工業からは、執行役員  
事業開発本部長 桜木雅之が出席

右：医療法人飯田クリニック 飯田院長  
左：執行役員事業開発本部長 桜木雅之

#### 【受賞内容】

受賞に際し一般財団法人省エネルギーセンターより以下のコメントを頂きました。

透析医療施設において、地元企業等5社と連携し、快適性と省エネ性を両立したスマートクリニックを実現した事例である。実施した取組みは、直射日光の入り込みを極力抑えた設計・壁の断熱強化・Low-E 複層ガラスの採用による窓の断熱化・屋上緑化等により空調負荷の低減、太陽熱を利用した高効率ハイブリッド加熱システムの導入による透析液加熱のエネルギー削減、人感センサー・画像センサー等の制御による照明電力の削減、透析液製造の際の余剰水をトイレや屋根散水に利用、太陽熱利用放射空調システムと高効率空調機の導入、待機電力カットシステム、BEMSの導入等である。これにより、エネルギー原単位は1,229MJ/m<sup>2</sup>年を達成するとともに、一般的病院施設と比べ59%の削減を実現した。本事例は、全国に10万件程ある小規模医療施設の模範となる。

## 【発表会】



三建設備工業は、より安全、快適で健康的な居住空間の提供と地球環境に配慮したZEB関連技術の開発を進める環境創造企業として、建築設備業界のリーディングカンパニーを目指してまいりました。いままで培ったZEB関連の省エネ技術を評価され、今回省エネ大賞資源エネルギー庁長官賞を受賞したことを非常に嬉しく、また誇りに感じております。

大規模病院は節電・省エネに積極的に取り組んでいることが多いですが、大多数の小規模な医療施設ではいまだ省エネへの取り組みが遅れているのが現状です。今回の取り組みでは、『多大なエネルギーが消費している医療施設でも、これにかかるエネルギーを聖域とせず省エネの取り組みが重要だ』との思いに賛同して下さった飯田クリニック様・地元企業様・医療機器メーカー様との連携が成功の鍵だったと思います。

今後も、三建設備工業は快適な居住環境と地球環境保全に配慮した技術開発に取り込み、環境創造企業として頑張ってまいります。

## 【本件に関する問い合わせ先】

三建設備工業株式会社 事業開発本部 開発企画部  
03-6280-2574